

令和元年度（平成31年度）事業計画 事業報告

今泉保育園

内容	事業計画 目標	備考	事業報告	備考
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度行事計画を丁寧を実施する。 第三者評価受託を行う。前年度、大規模に検討した内容をもとにして第三者評価を受任し、全職員が保育と向き合う機会として捉える。 		<ul style="list-style-type: none"> 平成31年（令和元年）度行事計画を丁寧に実施することが出来た。 第三者評価受託は実現できなかったが、受託に向けて、全職員が保育と向き合う機会として捉え、担当責任者6名を中心として全園職員が関与する体制作りが出来た。 	
職員養成	<ul style="list-style-type: none"> 保育士等の資質向上のための各種団体が開催する研修会へ参加を勧める。研修参加に伴う休暇を取得しやすい環境作りを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育士等の資質向上のための各種団体が開催する研修会への参加を勧め、研修参加に伴う休暇を取得しやすい環境作りを行った。 保育士自らが講師招致に動き、外部講師を招いての研修を行うこともでき、来年度も引き続き外部講師研修の検討が出来た。 	
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの森の植栽と植物の生育過程観察を養育の一つのテーマとし、担当職員の育成に力を注ぎたい。今まで駒場理事、キウイ農家の川田さんに頼ってきた活動の自立と巣立ちの準備を本格的に行う。 経年変化によって生じている子どもの森の「荒れ」の補修事を進めていく。 水回り部分の経年変化に伴う劣化が激しくなってきたので、まず幼児トイレ工事を先行い順次必要に応じてすすめていく。 	<p>2020年度の共同募 金補助事業計画を準備 して、2020年4月 の応募に繋げていく。 (各クラスの除菌器設 置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの森の植栽と植物の生育過程観察を養育の一つのテーマとし、担当職員の育成に力を注いだ。今まで駒場理事、キウイ農家の川田さんに頼ってきた活動の自立と巣立ちの準備を本格的に行った。元年度担当の保育士に加え、新たに植物への関心が強い保育士が加わり継続的な活動の形が整いつつある。 経年変化によって生じている子どもの森の「荒れ」に向かい補修工事計画が始まり、 	<p>2020年度の共同募 金補助事業計画を準備 して、2020年4月 の応募に繋げていく予 定が、国からの対コロ ナウイルス助成金の支 給があり、各クラスの 除菌器設置が出来た。</p>

			<p>まず「おととと橋」周りの整備工事を行うことが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水回り部分の経年変化に伴う劣化が激しくなってきたので、まず幼児トイレ工事を行う予定であったが、雨漏りの緊急対応のため、屋上の雨漏りシートカバー工事を行うことになった。 	
職員待遇	<ul style="list-style-type: none"> 処遇改善費の分配を効率的に行い、給与増額の実感に結びつけていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 処遇改善費の分配を効率的に行い、給与増額の実感に結びつけていった。例年年度末にでた余剰を再分配していたが、来年度からは4月当初から増額して支給することにする。 	
保護者会活動	<ul style="list-style-type: none"> 数年後の同窓会設立に向けての準備を進めていく。 	5月同期会 (H28年度卒)	<ul style="list-style-type: none"> 今年の卒園児に対しても数年後の同窓会設立に向けての準備を伝え、同期会開催予定などの相談に乗り、詳細について話合うことが出来た 	5月に同期会 (H28年度卒) が、予定通り開催された。
地域交流	<ul style="list-style-type: none"> 今泉地区、錦地区それぞれの地域活動に積極的に参加していく。 地域主催の今泉小学校園庭で開かれる地域夏祭り行事に今年度も参加し、在園児はもとより、卒園児と地域の関りを地を通り通して促進するとともに、地域住民に保育園の有り様を紹介し、お互いの理解促進を図る。 	<p>地域文化祭 (錦地区、今泉地区) 参加</p> <p>今泉小学校、錦小学校 交流活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今泉地区、錦地区それぞれの地域活動に積極的に参加していった。 地域主催の今泉小学校園庭で開かれる地域夏祭り行事に今年度も参加することが出来、在園児はもとより、卒園児と地域の関りを地域の祭りを通して促進するとともに、地域住民に保育園の有り様を紹介し、お互いの理解促進を図った。 	

平成31年度 事業報告

社会福祉法人 大門福祉会
徳次郎保育園

	事業計画	実績報告																		
1. 運営・処遇等方針	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の充実 『原体験』を大切に保育をするための環境整備を引き続き行う。(園庭・森・畑等) ・子ども主体の保育の充実 (子どもの気づきを大切にする) ・年間行事計画の実施 ・処遇改善費として加算される給付金を年度末に支給する。 ・働き方改革(有休・雇用形態等)の実施 ・処遇改善に伴うキャリアアップ研修受講 	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜、化石、地層、鉱物と興味が広がり博物館や八幡山公園に出かけ実際に目でみて触れて学ぶことが出来た。子ども主体で原体験を大切にする保育に力を注げた。 ・新型コロナウイルスの影響で卒園式は、来賓参加なしでの実施。 その他は計画通り実施 																		
2. 職員体制・職制・配置体制	<table border="0"> <tr><td>園長</td><td>1名</td></tr> <tr><td>主任保育士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>副主任保育士</td><td>2名(乳児幼児各1名)</td></tr> <tr><td>常勤保育士</td><td>11名</td></tr> <tr><td>非常勤保育士</td><td>5名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>調理員</td><td>2名(常勤1・パート1)</td></tr> <tr><td>用務員</td><td>1名</td></tr> <tr><td>職員合計</td><td>25名</td></tr> </table>	園長	1名	主任保育士	1名	副主任保育士	2名(乳児幼児各1名)	常勤保育士	11名	非常勤保育士	5名	栄養士	2名	調理員	2名(常勤1・パート1)	用務員	1名	職員合計	25名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年1月より保育士1名、栄養士1名が産前・産後休業に入る。 ・常勤調理員8月いっぱい退職
園長	1名																			
主任保育士	1名																			
副主任保育士	2名(乳児幼児各1名)																			
常勤保育士	11名																			
非常勤保育士	5名																			
栄養士	2名																			
調理員	2名(常勤1・パート1)																			
用務員	1名																			
職員合計	25名																			
3. 勤務体制等	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援児、5歳児に1名在籍。 (中・軽度のため兼任保育士で対応。) ・昨年に引き続き早番、遅番8時間勤務。 ・専門リーダー(発達支援・食育・子育て支援)を配置し、乳幼児副主任と合わせて研修を積極的に受講する。 ・後期の園児数増加に向けて保育士の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和1年9月より調理員2名採用 ・5月より常勤保育士1名採用 ・9月より常勤保育士1名採用 <p>その他は計画通り実施</p>																		
4. 利用者定員・対象者	<table border="0"> <tr><td>利用定員</td><td>80名</td></tr> <tr><td>認可定員</td><td>105名</td></tr> </table>	利用定員	80名	認可定員	105名	計画通り実施														
利用定員	80名																			
認可定員	105名																			
5. 利用時間・利用日	<p>開所時間 午前7:00～午後7:00 月曜日～土曜日(日曜、祭日は休み)</p>	計画通り実施																		
6. 利用料	<p>延長保育に於いては18:00～19:00 ・・・月額3,000円 ただし、19:00を過ぎた場合は別途請求。 10月より給食費実費徴収の可能性あり。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児～5歳児を10月より給食副食費の実費徴収開始。(月額4,500円) 																		
7. 給食	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし畑の食材、放射能物質検査 ・園児に人気のあるメニューレシピの提供 ・行事食においては工夫を凝らしバイキング等普段と雰囲気の異なる演出をする。 	計画通り実施																		
8. 職員会議 ケース会議 給食会議等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 毎日実施 ・幼児、乳児会議 各月1回 ・給食会議 月1回 ・ケース(個別)会議 月1回 ・週案検討会 毎週金曜日実施 ・行事担当者打ち合わせ会議 	計画通り実施																		
9. 職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・専門リーダーと副主任をメインにキャリアアップ研修を積極的に受講し知識の向上に努める。 ・研修参加者には会議等で研修内容の報告をしてもらい、園全体で知識を共有出来るようにしていく。 	計画通り実施																		

	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告書の提出 	
10. 健康診断 災害訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・火災による避難訓練 12回（地震も含む） ・竜巻による避難訓練 2回 ・健康診断 園児内科（4月・9月） 歯科（6月・1月） 職員5月～6月に実施 	計画通り実施
11. 行事・クラブ活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・別表の年間行事表により実施 ・特徳スポ（エール 大澤宏至氏指導） ・体育教室（吉田雅彦氏指導） ・英会話教室（グリーンランド ルーカス氏） ・茶道教室（大島宗文氏） ・わんぱくクルーズ（地域活動異年齢時交流） 	計画通り実施
12. 機関紙等	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊ひまわり クラスだより発行 	計画通り実施
13. 備品・遊具等購入 建物改善	<p>《園庭の環境整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園舎内の床板の修繕をすすめる。 （今年度は玄関、北廊下、ランチルームの修繕を予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関、北廊下、ランチルームの修繕完了
14. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのコミュニケーションを積極的にとると共に、こちらの真意がしっかりと伝わるような言葉で話をし、確認し合う。 ・保護者への思いやりを忘れず、出来る限りの支援を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度後半は、新型コロナウイルスの影響で、保護者の協力を得ながらの保育活動になった。お互いを思いやることの大切さを再確認した。

令和1年度行事報告

徳次郎デイサービスセンター

月日	行事	月日	行事	月日	行事
4月2日	習字ボランティア	6日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)	27日	岸様ボランティア(小話・踊り)
4日	いずみクラブボランティア(民謡)	8日	フリーダムフォーボランティア(軽音楽)	28日	お誕生会
8日	桜の花見ドライブ	8月9日	3B体操ボランティア	12月2日	フリーダムフォーボランティア(軽音楽)
9日	桜の花見ドライブ	19日	夏祭り(かき氷・ヨーヨー釣り)	3日	三味線ボランティア
12日	桜の花見ドライブ	21日	徳次郎保育園交流会(うめ組)	12月4日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)
13日	桜の花見ドライブ	24日	太鼓祭り(竹)	7日	笑楽マジックボランティア
15日	三味線ボランティア	27日	太鼓祭り(竹)	12日	尺八ボランティア
16日	いやしの園芸活動ボランティア		お誕生会	19日	いずみクラブボランティア(民謡)
17日	3B体操ボランティア	29日	徳次郎保育園交流会(ゆり組)	23日	3B体操ボランティア
18日	魚べい外食会	30日	いずみクラブボランティア(民謡)	24日	いやしの園芸活動ボランティア
24日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)	9月2日	尺八ボランティア		お誕生会
25日	お誕生会	3日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)	12月29日～1月4日まで	年末年始休業
26日	魚べい外食会	4日	笑楽マジックボランティア		
5月9日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)	6日	魚べい外食会	1月7日	徳次郎保育園交流会(ゆり組)
13日	魚べい外食会	10日	お誕生会	8日	徳次郎保育園交流会(うめ組)
14日	いやしの園芸活動ボランティア		魚べい外食会	9日	徳次郎保育園交流会(はと組)
16日	三味線ボランティア	12日	いやしの園芸活動ボランティア	14日	笑楽マジックボランティア
18日	魚べい外食会	17日	徳次郎祭り	15日	フレンズボランティア(軽音楽)
21日	笑楽マジックボランティア	18日	徳次郎祭り	21日	いやしの園芸活動ボランティア
22日	お誕生会	19日	徳次郎祭り	23日	尺八ボランティア
27日	尺八ボランティア	21日	徳次郎祭り	24日	お誕生会
28日	魚べい外食会	25日	お誕生会	25日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)
	ロマンチック村(さつき祭り見学)	26日	フレンズボランティア(軽音楽)	27日	三味線ボランティア
30日	ロマンチック村(さつき祭り見学)	30日	三味線ボランティア	28日	富屋小学校4先生交流会
6月1日	ロマンチック村(さつき祭り見学)	10月1日	消防避難訓練/施設内査察	29日	お誕生会
11日	魚べい外食会	7日	徳次郎保育園交流会	30日	お誕生会
13日	徳次郎保育園交流会(はと組)	8日	新里ゴールドクラブボランティア(歌・ダンス)	2月3日	富屋小学校4先生交流会
14日	徳次郎保育園交流会(ばら組)	11日	3B体操ボランティア	7日	ご利用者様100歳のお祝い会
17日	徳次郎保育園交流会(ゆり組)	17日	徳次郎保育園交流会	10日	尺八ボランティア
20日	三味線ボランティア	21日	笑楽マジックボランティア	14日	3B体操ボランティア
24日	お誕生会	22日	お誕生会		
25日	いずみクラブボランティア(民謡)	23日	徳次郎保育園交流会	17日	徳次郎保育園交流会(ばら組)
26日	3B体操ボランティア	24日	いやしの園芸活動ボランティア	18日	いずみクラブボランティア(民謡)
	魚べい外食会		お誕生会	21日	お誕生会
27日	いやしの園芸活動ボランティア	25日	お誕生会	24日	お誕生会
7月3日	徳次郎保育園交流会(ゆり組)	30日	いずみクラブボランティア(民謡)	25日	お誕生会
8日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)	31日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)	3月	新型コロナウイルス対策により ボランティアの受け入れ中止
9日	いやしの園芸活動ボランティア	11月5日	尺八ボランティア	17日	消防避難訓練
11日	尺八ボランティア	11日	紅葉ドライブ(中央公園)	21日	お誕生会
16日	徳次郎保育園(ばら組)	12日	紅葉ドライブ(中央公園)	26日	お誕生会
17日	徳次郎保育園(うめ組)	14日	紅葉ドライブ(中央公園)	28日	桜花見ドライブ
18日	魚べい外食会	15日	紅葉ドライブ(中央公園)	31日	お誕生会
19日	美咲はるかコンサート	18日	インフルエンザ予防接種		
22日	笑楽マジックボランティア	19日	インフルエンザ予防接種		
23日	三味線ボランティア	20日	インフルエンザ予防接種		
25日	お誕生会	21日	インフルエンザ予防接種		
26日	お誕生会		いやしの園芸活動ボランティア		
8月1日	いやしの園芸活動ボランティア	22日	下野民話ボランティア(読み聞かせ)		
3日	尺八ボランティア	26日	お誕生会		

令和1年度 富屋・篠井地域包括支援センター一月間事業報告書

	会 議	介護予防事業 短期集中型サービス	地域介護予防活動支援（自 主グループ）	・相談会・講座・交流会 ・研修・地域行事	その他 学生実習
4月	年間事業計画市提出 3職種ブロック会議 (コロナ感染拡大中止)	はつらつ教室 富屋 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木) (コロナ感染拡大中 止)	★富屋地区 ★篠井地区 いきいきサ いずみ会サ あやの会ク ほほえみク さくら会サ 歩み会サ 輪投げ会ク なのはなサ 八重のさくらク かんなの会 ももの会	シルバー交流会 (毎月第3月) 出張相談会やすらぎ荘 (コロナ感染拡大中止)	済生会 看護学校 中止又は 延期
5月		はつらつ教室 富屋 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木) (コロナ感染拡大中 止)	★介護予防教室卒業 グループ支援 (コロナ感染拡大中止)	シルバー交流会 (毎月第3月) 出張相談会 ろまんちっく村 ふれあい会食【富屋】 (コロナ感染拡大中止)	済生会 看護学校 中止又は 延期
6月	地域ケア会議 (地域課題検討会議) 【篠井】【富屋】 第1回東・北ブロック 医療介護連携会議	はつらつ教室 富屋 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木)	★介護予防教室卒業 グループ支援	シルバー交流会 (毎月第3月) シルバー交流会 (毎月第3月) 介護支援専門員研修 (北ブロック包括合同)	済生会 看護学校
7月	見守り活動会議 富屋 (2回実施) 3職種ブロック会議	はつらつ教室 富屋 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木) ◇短期集中型サービス 週1回篠井 (10回コース)	★介護予防教室卒業 グループ支援 地域リハビリテーション 活動支援	出張相談会やすらぎ荘 シルバー交流会 (毎月第3月) ふれあい会食【富屋】	済生会 看護学校
8月	見守り活動会議 富屋 (2回実施)	はつらつ教室 富屋 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木) ◇短期集中型サービス 週1回篠井	★介護予防教室卒業 グループ支援	シルバー交流会 (毎月第3月)	
9月	地域ケア会議 (地域課題検討会議) 【篠井】【富屋】 第2回東・北ブロック	はつらつ教室 富屋 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木) ◇短期集中型サービス	★介護予防教室卒業 グループ支援 地域リハビリテーション 活動支援	介護支援専門員研修 (北ブロック包括合同) シルバー交流会 (毎月第3月) ふれあい会食【富屋】	栃木病院 看護学校

	医療介護連携会議	週1回篠井			
R2年	会議	介護予防教室 短期集中型サービス	地域介護予防活動支援	・相談会・講座・交流会 ・研修・地域行事参加	その他
10月	3職種ブロック会議 見守り活動会議 篠井	はつらつ教室 篠井 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木)	★富屋地区 ★篠井地区 いきいきサ いずみ会サ あやの会ク ほほえみク さくら会サ 歩み会サ 輪投げ会ク なのはなサ 八重のさくらク かんなの会 ももの会	シルバー交流会 (毎月第3月) やすらぎ荘まつり (第4・日・月) ●徘徊模擬・声掛け訓練	栃木病院 看護学校 済生会 看護学校
11月	地域ケア会議 (地域課題検討会議) 【篠井】【富屋】 見守り活動会議 篠井	はつらつ教室 篠井 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木)	★介護予防教室卒業 グループ支援	篠井の秋まつり とみやふるとまつり シルバー交流会 (毎月第3月) 介護支援専門員研修 (北ブロック包括合同) ふれあい会食【富屋】	済生会 看護実習
12月	見守り活動会議 篠井 第3回東・北ブロック 医療介護連携会議	はつらつ教室 篠井 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木)	★介護予防教室卒業 グループ支援 地域リハビリテーション 活動支援	シルバー交流会 (毎月第3月)	
R3年 1月		はつらつ教室 篠井 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木)	★介護予防教室卒業 グループ支援 地域リハビリテーション 活動支援	出張相談会 やすらぎ荘 ふれあい会食【富屋】 シルバー交流会 (毎月第3月)	
2月	地域ケア会議 (地域課題検討会議) 【篠井】【富屋】	はつらつ教室 篠井 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木)	★介護予防教室卒業 グループ支援	篠井ふれあいお楽しみ会 家族介護教室 【篠井】【富屋】 視察研修(富屋社協) シルバー交流会 (毎月第3月)	
3月	各包括支援センター長 会議 年間事業計画報告 次年度年間事業計画	はつらつ教室 篠井 第2・4(木) はつらつ教室 富屋 第3(木)	★介護予防教室卒業 グループ支援	ふれあい会食【富屋】 シルバー交流会 (毎月第3月)	

☆ 富屋・篠井地域包括支援センターは北ブロック

＜包括支援センター業務内容＞

- ※ 緊急連絡体制は24時間。 休日・夜間帯等の緊急時には連絡が可能な体制を講じている。
- ※ 総合相談を受け付け、相談内容に応じた関係機関との連携
- ※ 権利擁護業務（成年後見制度・高齢者虐待・消費者被害等）対応
- ※ 高齢者の実態把握の実施。
- ※ 介護保険介護サービスが適切に利用できるよう日常生活の支援と利用者宅訪問実施。
- ※ 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの実施
介護予防・日常生活支援総合事業のサービス支援
- ※ 介護予防教室（はつらつ教室）、短期集中型サービス（げんき応援教室）、家族介護教室実施
- ※ 地域ケア会議（個別課題検討会議・地域課題検討会議）開催時に地域関係者出席調整
- ※ ひとり暮らし高齢者等安心ネットワーク事業（・見守り活動会議の実施・安否確認毎月実施）
- ※ 福祉サービス支援（食の自立支援配食サービス・緊急通報申請等）
- ※ 認知症サポーター養成講座等依頼の時講座実施
- ※ 介護支援専門員へのサポート
- ※ 山王市営住宅の高齢者用住宅入居者への支援実施（シルバー交流会）
- ※ その他、サロン及び自主グループへの支援は必要時又は要望に応じて支援

平成31年・令和元年度 事業報告書

事業名	徳次郎居宅介護支援センター						
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族に対し、ニーズを把握し自立支援の理念に基づいた適切なケアマネジメントの充実を図る ・多様化した多くのニーズに対応出来る様、医療連携を始め各種制度(障害・生活保護・権利擁護)との連携を図る ・地域の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修等を実施することで、自己研鑽、情報収集に努める ・介護支援専門員やサービス担当者会議だけでは解決できない困難事例については、包括支援センターと連携を図る等で地域包括ケアの推進に努める 						
評価	6月30日	施設長		責任者		担当者	
	<p>訪問看護ステーション協議会の研修に参加し、ケアマネにさまざまな事例でたすけられているが些細な情報でも繋げること、医療面でのアプローチ利用を期待している事が理解できた。また、神経難病の研修では難しいことだが元気うちに末期を迎えたときの方針を家族と一緒に話し合ってもらう事が必要等を学ぶ事が出来た。お孫さんが急に精神病を発症し、長男夫婦が母親の介護が出来なくなった事例では緊急でショートステイを利用その後スムーズに施設入所に繋がる様支援出来た。</p>						
評価	9月30日	施設長		責任者		担当者	
	<p>事業所として2回目になる、他の法人が運営する指定居宅介護支援事業所と共同での事例検討会、研修会を前年度より1事業所多い、4事業所で開催できた。今回は他事業所の事例の検討が出来、他事業所としての困難事例の困難な部分も同じであり、大勢で検討できることで、多くの意見が得られる。ケアマネとして日頃の振り返りにもなり、情報収集も出来た。今年度は30度を超える日が多く熱中症が危惧された為訪問の際には水分補給の声掛けし、熱中症の予防ができた。</p>						
評価	12月24日	施設長		責任者		担当者	
	<p>持病で歩行が不安定で、運動がやってみたく希望される利用者へ個別機能訓練型の通所介護を提案、足の浮腫も取れ、歩行状態が改善、出かけることで、社会参加にも繋がった、また、特別養護老人ホームに入所していた方の状態改善あり、サービス付き高齢者住宅へ転居することで、自宅に近い環境での自立した生活を支援することが出来た。</p>						
評価	3月30日	施設長		責任者		担当者	
	<p>独居で、金銭管理が困難な利用者に対し、地域包括支援センターと連携を図り権利擁護としてあすてらすへ繋げることが出来た事例で、今回は自宅での転倒が増え、緊急時の本人の不安軽減の為地域包括支援センターと連携を図ることで、緊急通報装置を設置できた。そして、住み慣れた地域で、ご本人が望む自宅での生活出来る様支援出来た。</p>						

平成31年・令和元年度 事業報告書

<p>事業名</p>	<p>徳次郎居宅介護支援センター</p>						
<p>目標</p>	<p>・利用者及び家族に対し、ニーズを把握し自立支援の理念に基づいた適切なケアマネジメントの充実を図る ・多様化した多くのニーズに対応出来る様、医療連携を始め各種制度(障害・生活保護・権利擁護)との連携を図る ・地域の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修等を実施することで、自己研鑽、情報収集に努める ・介護支援専門員やサービス担当者会議だけでは解決できない困難事例については、包括支援センターと連携を図る等で地域包括ケアの推進に努める</p>						
<p>評価</p>	<p>6月30日</p>	<p>施設長</p>		<p>責任者</p>		<p>担当者</p>	
<p>評価</p>	<p>訪問看護ステーション協議会の研修に参加し、ケアマネにさまざまな事例でたすけられているが些細な情報でも繋げること、医療面でのアプローチ利用を期待している事が理解できた。また、神経難病の研修では難しいことだが元気なうちに末期を迎えたときの方針を家族と一緒に話し合ってもらう事が必要等を学ぶ事が出来た。 お孫さんが急に精神病を発症し、長男夫婦が母親の介護が出来なくなった事例では緊急でショートステイを利用その後スムーズに施設入所に繋がる様支援出</p>						
<p>評価</p>	<p>9月30日</p>	<p>施設長</p>		<p>責任者</p>		<p>担当者</p>	
<p>評価</p>	<p>事業所として2回目になる、他の法人が運営する指定居宅介護支援事業所と共同での事例検討会、研修会を前年度より1事業所多い、4事業所で開催できた。 今回は他事業所の事例の検討が出来、他事業所としての困難事例の困難な部分も同じであり、大勢で検討できることで、多くの意見が得られる。ケアマネとして日頃の振り返りにもなり、情報収集も出来た。 今年は30度を超える日が多く熱中症が危惧された為訪問の際には水分補給の準備はし、熱中症の予防ができた。</p>						
<p>評価</p>	<p>12月24日</p>	<p>施設長</p>		<p>責任者</p>		<p>担当者</p>	
<p>評価</p>	<p>持病で歩行が不安定で、運動がやってみたく希望される利用者個別機能訓練型の通所介護を提案、足の浮腫も取れ、歩行状態が改善、出かけることで、社会参加もにも繋がった、また、特別養護老人ホームに入所していた方の状態改善あり、サービス付き高齢者住宅へ転居することで、自宅に近い環境での自立した生活を支援することが出来た。</p>						
<p>評価</p>	<p>3月30日</p>	<p>施設長</p>		<p>責任者</p>		<p>担当者</p>	
<p>評価</p>	<p>独居で、金銭管理が困難な利用者に対し、地域包括支援センターと連携を図り権利擁護としてあすてらすへ繋げることが出来た事例で、今回は自宅での転倒が増え、緊急時の本人の不安軽減の為地域包括支援センターと連携を図ることで、緊急通報装置を設置できた。そして、住み慣れた地域で、ご本人が望む自宅での生活出来る様支援出来た。</p>						

平成31・令和1年度 事業報告書

サービスの種類 (訪問介護) ・ (第1号訪問事業)

事業所又は施設名 (社会福祉法人 大門福祉会 徳次郎ホームヘルプサービス)

項目	計画
1 運営方針	<p>要支援・要介護・総合事業の対象者状態にある方に対し、適正な訪問介護を提供することにより要支援者・総合事業の対象者状態の維持、改善を目的とし、目標を設定して計画的にサービスを提供します。</p> <p>また、関係市町村、地域の保険・医療・福祉サービスと連携を図り、総合的なサービスに努めます。</p> <p style="text-align: center;">報 告</p> <p>適切に実行できた。</p>
2 事業内容	<p>介護保険法に規定される訪問介護事業・第一号訪問事業を下記業務を通じて適切に実施する。</p> <p>①要介護者(要支援者)および居宅介護支援事業者・第一号訪問事業者からの居宅サービス計画・第一号訪問サービス計画に沿った訪問介護・第一号訪問事業サービスの提供</p> <p>②訪問介護計画書・第一号訪問事業計画書の作成</p> <p>③利用料徴収業務 ・口座引き落とし又は、集金にて徴収</p> <p>④介護給付費報酬請求業務</p> <p>⑤利用者からの相談・苦情処理に関する業務</p> <p style="text-align: center;">報 告</p> <p>計画通りに、適切に実施できた。</p>
3 事業実施の予定	平成 31年 4月 1日
4 職員体制	<p>(1) 管理者 1人</p> <p>(2) サービス提供責任者 1人(常勤 1人)</p> <p>(3) 訪問介護員 4人(非常勤 4人)</p> <p style="text-align: center;">報 告</p> <p>・求人募集をしているが、応募が来ていない状況。 職員体制変わらないが、支援は継続出来た。</p>
項目	計画
5 利用者の推定数	<p>利用者の推定数 通常の実施地域および近隣地域からの利用 30人 (要介護者 18人・要支援者 12人)</p> <p style="text-align: center;">報 告</p> <p>利用者の推定数 通常の実施地域および近隣地域からの利用 28~30人 (要介護者 18人・要支援者 10人) 3月時点</p>
6 訪問時間	<p>(1) 月~土曜日 午前8時~午後6時 (但し、12月29日~1月4日までを除く)</p> <p style="text-align: center;">報 告</p> <p>営業時間通り実施</p>
7 研修	(1) 月1回 訪問介護員研修 (別紙にて研修表あり)

	<p>(2) 外部研修への参加 (3) 2ヶ月に1回 内部研修</p>
	報 告
	<p>(1) 訪問介護員研修 「4月 接遇・今年目標発表」接遇の5つの原則を習得しワークショップにて利用者との会話時に必要なパーソナルスペースを学び実践に繋げた 「5月 終末ケア（ターミナルケア）」看取りに対してヘルパーができる事と看取りに向き合う為の心構えを学ぶ。医療知識も勉強しながら終末ケアに向き合えた。改めて医療職、他職種との連携が重要な事を感じる 「6月 福祉用具を知る」改めて福祉用具の機能や種類などを理解し、利用者様の福祉用具のアドバイス等が各ヘルパーで出来る様に研修。 「7月 医療知識 体温と熱」高齢者の体温の変化、熱の状態の特徴をした上で利用者様の健康状態の変化をいち早くヘルパーが気づき病気の悪化を防ぐ事ができた。「8月 コミュニケーション」利用者様の気持ちを理解した上で使い分け、傾聴、要約を大切にしながらコミュニケーションをうまく図っていく。そして、自己覚知をしてもらう為の心理テストや事例を通して良い支援に繋げていった。「10月 自立支援」見守りの援助の定義を理解してもらいヘルパーがすべてに手を出すのではなく、利用者様の出来る部分に着目し自立支援、重度化防止という視点を持ち、専門的な支援を行うようにした。実際の支援に繋げ、利用者様、家族から感謝の言葉が頂けた。「11月 脳血管障害」麻痺や嚥下機能、言語、意識レベルなど利用者様の症状で、どのような問題を抱えているのか、何が出来て何が出来ないのかなどその人に合った介助を心がけていった。 「12月 虐待防止・権利擁護研修」虐待を見たら、グレーでも通報。早いうちに虐待の芽を摘み取る事が重要。通報義務がある事を認識してもらい自分の感情のコントロール方法を一緒に考える機会を作ることができた</p>
	<p>「1月 倫理・法令遵守」介護職独自のルールでの倫理観を知り、プロとして正しいサービスが出来る様に意識付けが出来た。 「2月 利用者の状況と情報交換」利用者様の支援内容等の把握と必要なサービスの確認。ヘルパー同士の情報交換を行う。 「3月 1年間の振り返り」今年度立てた各ヘルパーの目標への反省と振り返りを各ヘルパーが発表し自己採点をしてもらった。</p> <p>(2) 外部研修への参加 10月「同行援護従業者養成研修（一般課程）」への参加 11月「介護事業所研修会 認知症ケアパスの使用の仕方」への参加 11月「栃木県障害者虐待防止・権利擁護研修」への参加 1月「ネットワーク研修 VR認知症体験会」への参加 2月「同行援護従業者養成研修（応用課程）」への参加</p> <p>(3) 2ヶ月に1回 内部研修（4事業所の研修会） ・事例検討会 ・研修報告会 ・マニュアル作成など</p>
8 会議	<p>(1) 月1回 事業所の主任会議 (2) 月1回 ヘルパー会議</p>
	報 告
	<p>(1) 各部署の主任からの、業務連絡・会議 (2) 利用者様の状態報告、ヘルパーから情報提供</p>

項 目	計 画		
9 H31年度の目標	<p>①訪問介護のルールを元に、徳次郎ホームヘルプサービス独自の親しみやすく居心地の良い介助を目指していく。</p> <p>②各ヘルパーの苦手な部分の介助や対応を、同行や研修を繰り返し、苦手意識を無くし向上を図る。</p> <p>③利用者様の気持ちに寄り添ったケアをする為に、推測力、想像力を身につける習慣を身につける。</p>		
	報 告		
	<p>①各ヘルパーに倫理観をきちんと理解してもらいながら利用者者とヘルパーとの距離感を大切に良い介助ができてきている。クレームもほとんどなくなっている。</p> <p>②支援にて苦手な事や対応が出来ない場合は、同行を繰り返し利用者との関係も見直す事ができた。定期的にヒアリングを行っている。</p> <p>③支援以外でも、常に想像力、推測力を持てる生活をしていく努力をする様心がけていった。</p>		
管 理 者		サービス提供責任者	
計画書確認印	報告書確認印	計画書確認印	報告書確認印